

承認	照査	作成

議 事 録

<p>【参加者】 利用者ご家族 1名 委員（地域住民）1名 委員(行政) 事務局3名</p> <p>【事前意見書】 委員（社会福祉協議会）1名</p> <p>【欠席】 委員（地域住民）1名 委員（地域包括）1名</p>	<p>会議名：令和5年度 第2回 運営推進会議</p> <p>開催日：令和5年3月19日（火）</p> <p>時間：14時00分～15時00分</p> <p>資料：有 資料(活動状況報告、事故及びヒヤリハット事故及び改善状況の報告、令和5年度利用者アンケートの結果報告)</p>
<p>議事進行：事務局1 書記：事務局2 会場：2階相談室</p> <p>1、挨拶(事務局1より) 《委員のご紹介（事務局1より）》 委員（家族）、委員（地域住民）、委員（行政） 《職員紹介》 事務局3名</p> <p>・事業概要、介護保険所業の運営及び活動状況について資料に添って報告を行う。</p> <p>事務局1【施設の概要やご利用者の属性など】 事業所の概要について報告を行う。定員は12名で、営業日は月曜日から日曜日までで、年末年始を除く全日営業。営業時間は8時から17時までで、職員配置は1日7名で、定着率が高く人材不足の業界でも退職や入職がほとんどない状況。年に2回以上の運営推進会議を開催し、地域と連携して支援を行っている。利用者数は平均で7人から9人で、軽度の認知症の方が増えている状況。登録者数は28名で、介護度が徐々に軽くなっている傾向。サービスを通じて生活のメリハリを感じる方や活動量が増える方がいますが、波があり個々のニーズに対応している。</p> <p>事務局1【利用時間及び年齢利用状況、中学校圏域別利用状況について】 利用時間について平均的には6時間から7時間の利用が多い。 過去には延長利用を利用していた方もいましたが、現在は午後17時までの利用のご利用者のみとなっている。年齢利用状況について利用者の最高齢は90歳から95歳で、100歳以上の方のご利用者は現在なし。年齢の幅が広がり、若年の利用者も増加。中学校圏域別の利用状況について、南城陽中学圏域や青谷方面からの利用は現在なし。北城陽中学圏域や東城陽中学圏域からの利用者が増加。西城陽中学圏域からの利用者は現在0名であり、送迎においても効率的に行っている。</p> <p>事務局2【新型コロナウイルス対応に関する対応】 感染症法上の位置付けが5類に移行後のセンターでは感染防止策を報告。 ご利用者や職員に対するマスク着用のご協力や、利用中の体調確認などの対策を継続して実施。 ご利用者や職員に発熱や体調変化があった場合、適宜抗原検査を実施している。 発熱のない場合でも、鼻声や鼻水の症状が見られた際には、慎重に対応し、感染拡大を防ぐために適宜抗原検査を実施。営業継続について、ご利用者、職員の感染はあるが感染者が発生しても、状況に応じて柔軟な対応をしており、営業を停止せずに継続できており営業環境を維持している。利用者の症状が疑わしい場合には、玄関での検査や適切な対応を行い、感染の早期発見と拡大防止に努めている。</p> <p>事務局2【認知症対応型広報誌「かけはし」】 広報誌「かけはし」は、情報発信の一環として3年間継続して発行している。 新型コロナウイルスの位置づけが5類移行後、施設の行事も徐々に再開しており、当事業所の活動を写真と記事で紹介し、ご利用者やご家族に情報を発信している。発行を続けてきて3年、初めは職員のみが発行作業も、今では職員とご利用者が一緒に作業を行い、発行作業は役割活動の一環として定着している。紙媒体での発行に加えて、情報発信のためにSNSも活用し、時代の流れに合わせて情報発信を継続していく予定。これらの取り組みは、ご利用者やご家族に対して日々の活動や取り組みを共有し、職員の振り返りや効率化にも役立っている。</p> <p>事務局2【活動内容】 園芸、メダカの飼育、芽生え幼稚園との交流、洗濯畳、広報誌の発行作業、福島ひまわりプロジェクト、雑巾・しおり作りなど、さまざまな活動に取り組んでいる。洗濯畳では新たに洗濯畳の専用スペースを設け、環境整備を行い、ご利用者が作業しやすい環境を整えた。ご利用者から「作業しやすくなった」とお声をいただいている。福島ひまわりプロジェクトについての取り組み内容を説明。花壇の整備から始まり、ひまわりの種からの育成や発行作業が行われ、長期間での活動となり多くのご利用者に参加していただくことができた。ご利用者の自立度や介護度に関わらず、できることから参加を促し、多様な</p>	

工程を設け、役割活動を通してご利用者が達成感を感じられるように努めている。

事務局2【家族懇談会】

今年度は全4回、テーマ別での懇談会が開催され、以下のテーマで開催。

9月：排泄介助、認知症状別への対応

12月：認知症の病型別への対応

3月：認知症の進行、看取りについて、寝たきりの場合の排泄介助の方法

参加者数は初回が8名、9月が4名、今回と次回は6名で、開催時間は13時30分から15時まで。

家族懇談会は、ご家族同士や職員との交流の場として、多くの参加者から「参加してよかった」との声が寄せられている。定期開催している家族懇談会は居宅のケアマネージャーさんからも推薦されており、家族の支援を含めて総合的なサポートに努めている。

ご家族からは、実際の経験談や症状に関する情報が得られることが、非常に有益であるとの声が挙がっている。特に介護をされているご家族の話が他の参加者を勇気づけ、開催後のアンケートでも高い評価を受けている。

事務局2【SNSインスタグラム情報発信】

SNSインスタグラムを活用した情報発信に関する報告を行う。

令和5年3月からSNSインスタグラムを利用し、写真や動画を用いた手軽な情報発信を実施。

手軽に発信できることから投稿作業時間の短縮になり、業務効率が向上している。

このSNSインスタグラムの活用により、東部デイサービスの魅力を全国に向けて発信しており、令和6年2月には職員が「SNS研修」を受け、さらなる活用を目指している。SNSインスタグラムのメリットとして、幅広い情報発信が可能である反面、特に高齢の配偶者やその世代には情報共有が難しい状況が課題となっている。今後は別の方法での情報発信も現在検討している。

事務局2【地域活動】

10月に開催されたRUN伴に5年振りに参加し、当事業所がゴールテープ制作を担当。イベント当日では城陽市認知症初期集中チームや、萌木の村のご利用者や職員と交流し、地域との繋がりを構築することができた。

※RUN伴（ランとも）は、今まで認知症の人と接点がなかった地域の住民や企業、商店などが、認知症を生きる本人や家族、医療福祉関係者などと一緒にタスキをつなぎながら走る、まちづくりのイベント。

芽生え幼稚園との交流では壁画を寄贈し、卒園のお祝いに折り紙で作った駒をご利用者と共に訪問しプレゼントした。コロナ禍での交流はビデオメッセージだったが、今年度は対面での交流が実現。

その他地域交流では、雑巾を久世小学校に、しおりを東部コミセンに寄贈する予定。また、図書館や地域の施設にしおりを置いてもらえないかと考えている。又しおりにインスタグラムのQRコードを貼り付け情報発信の拡大を実施。今後も地域との交流や情報発信を積極的に行い、地域社会との連携を強化していく方針。

事務局2【内部研修、外部研修について】

施設内研修では、動画研修を中心に実施。前年度に引き続き動画研修が主流になっている。

対面での研修も記憶に残りやすいという課題がある。しかし、ウェブ研修は時間の確保がしやすいという利点もあり。交通安全運転研修は城陽警察交通課の協力を得て、今年度は2回実施。運転業務を行う職員対象に運転適性検査を実施し、自己ゼロを目標に取り組んでいる。

避難訓練は城陽市消防署の協力で7月と12月に実施。BCP自然災害訓練では、職員の安否確認訓練を9月と11月に2回実施。BCPに関しては、次年度では定期的な訓練を強化し、さまざまな角度からの訓練を行い、事業運営の安定化を図る方針です。

認知症対応型として、ケースカンファレンスを1ヶ月に1度開催し、今後も継続して実施。

施設外の研修では、「中堅職員研修」と「SNS魅力発信研修」に参加。

次年度も認知症に特化した研修に参加を予定。

事務局2【委員会活動、会議について】

会議の集約化を行い、フロアごとの会議と委員会を合同で令和6年1月より開催。

月1回の運営会議と役職者ミーティングも継続して開催し、事業運営の協議の場を設けている。

事務局1【実習について】

コロナ禍以降、実習が一時中断していたが、5月以降再開。受け入れを行っている。

事務局1【事故及びヒヤリハット事故及び改善状況の報告】

今期は重大事故は発生していない。中度の事故として、入浴用車椅子のキャリアに関連する事故が1件。

入浴介助中、利用者が入浴用の車椅子によって軽度の怪我を負った。
マスクの取り間違いによる事故が複数発生。隣の人が自分のマスクと誤認し、それを使用してしまうという事故が発生。対策として、マスクに名前を書く、専用の保管ケースを使用するなど、各種対策を試みている。

【ヒヤリはっつに関する報告】

ご利用者同士のマスクの取り間違いが起りやすい状況がある。
入浴時のタオルの取り違えが指摘されており、職員間の明確なコミュニケーションが求められている。
認知症のご利用者が突然立ち上がる際の転倒予防策として、全ご利用に対して職員の駆け寄りや声掛けを行っている。事故を防ぐための気付きを増やす取り組みが進行中で、今後も改善を続け取り組んでいく。

【防災関連の報告と意見交換】

避難訓練:7月と12月に火災と地震を想定した避難訓練を実施。特に南海トラフ地震や能登半島地震の影響を考慮し、地震に関する訓練の必要性がある。水害に関しては施設が水域に入っていないため、過去に1階から2階への避難訓練を実施した経験があるものの、今後の対応について検討が必要。

地域の水害リスクについて

委員（家族）：

自宅周辺地域では土地の傾斜や溝の問題があり、西側が水浸しになる可能性があることが指摘されている。
損害保険会社ではハザードマップを基に保険料を算定しており、床下浸水などの被害が報告されているがニュースなどで十分に取り上げられていない。

事務局1：

送迎時の安全性や災害時の判断が重要視されており、安全第一の姿勢が求められている。
災害発生時には通常の行動計画が通用しない可能性があり、急な変化に対応できる体制が必要であるとの意見が共有された。

最近の地震体験について議論を行う

事務局1：

過去の大きな地震が再び起こる可能性に備える必要性が強調されている。

委員（地域住民）：

初詣の際に地震が発生し、その経験から地震の突然の発生に備えることの重要性が再確認された。
参加者間での情報交換を通じて、施設や地域の防災対策の重要性が再確認され、今後の取り組みに向けた意見が交わされた。

【参加者からの介護保険制度についての質疑応答】

介護保険制度に関する質問やその利用について議論を行った。（以下要約）

委員（地域住民）：

入所するには国民保険が必要ですか？

委員（行政）：

介護サービスは、皆さんが加入されている介護保険を利用いただくこと。市役所や地域包括センターにご相談ください。

介護保険利用に関する具体的な手続きや、介護保険制度についての質問に対し、介護保険の加入や利用について説明を行う。最終的に、介護保険の利用が必要な場合は市の担当者や包括の方に相談することが推奨されているとお伝えする。この議論を通じて、介護保険制度の理解や利用方法についての情報が共有され、入所者やそのご家族が適切な支援を受けられるようになることが期待される。

【雑巾寄付先について】

委員（地域住民）より、雑巾の寄贈先に消防署はどうかと意見をいただいた。消防署では毎日拭き掃除で雑巾を使用しているとのこと。事務局1より、委員（地域住民）を通じて消防の方へ連絡をとっていただけないかと依頼をする。委員（地域住民）が消防との連絡を引き受けて下さり、近日中に消防へ連絡してくださることとなる。現在制作している雑巾は、美容師さんから使用済みのタオルを沢山提供していただいております、それを縫作業に再利用している。地域の方々に活用してもらえようように、地域交流を行って行く予定。

【意見書】委員：社会福祉協議会 ※当日不参加の為事前に意見書にてご意見をいただいた。

1、事業所の活動状況報告

回答者：委員（社会福祉協議会）

（介護予防認知症対応型通所介護・認知症対応型通所介護事業所の概要）

事業所の概要については、承知いたしました。

介護職員の離職率は大幅に改善され、全産業の離職率と大差がなくなっている事は認識していますが、事業

所にもよるとは思いますが、慢性的な人材不足の課題をかかえている事業所もあると聞いています。

(月別の利用状況/月別平均介護度/利用時間および年齢利用状況/中学校圏域別利用状況)

利用状況について、承知いたしました。自宅での老老介護やヤングケアラー問題が深刻化し、核家族化の現在では、近所の気付きも無く、相談しにくいのが現状では。新規利用者の募集、相談件数についてもお聞かせ頂ければと思います。

(新型コロナウイルスに対する取り組み・影響について)

新型コロナウイルス感染症の対応について、承知いたしました。特にインフルエンザを含め感染症感染者が増加している現状ですので、対策は充分過ぎるという事は無いと思いますので、今後もよろしくお願いします。

2、行事等実施状況について

(認知症対応型専用広報誌「かけはし」発行/役割を持てるアクティビティの充実/家族懇談会の開催/
SNSを活用した情報発信 / 地域活動)

広報誌、アクティビティの充実、家族懇談会実施について毎月お送り頂いている広報誌「かけはし」を拝見し、活動状況等把握する事ができています。有難うございます。地域活動ですが、社協行事もコロナ前に戻っておりますので、どのような形でも結構ですので参加頂ければと思っております。

3、職員に対する研修および委員会活動等実施状況について

(施設内研修 / 施設外研修/会議及び委員会の設置運営)
十分な施設内 施設外研修を実施・参画されていると思います。

4、事故及びヒヤリはつと事故及び改善状況の報告

事故やヒヤリハットを皆無にすることは非常に難しいとは思いますが、現在までに起こった事実をしっかり踏まえ、日頃の注意喚起をお願いします。介護職員の皆様方のお仕事は非常に難しく繊細なものと理解していますが、よろしくお願いします。

5、その他

防災関係について 本年元旦に能登半島地震、最近では千葉県でのスロースリップと思われる地震が続いています。南海トラフ地震の心配も。地震想定避難訓練は必要と思われませんが、防災は地域との連携が重要だと思いますので地域を巻き込んだ実施を是非ともお願いします。

目的：	<input checked="" type="checkbox"/> 定例開催	—	<input type="checkbox"/> 臨時開催
決定事項：			
次回の課題：			
次回開催予定日：	令和6年 9月頃	14:00	～15:00
次回開催目的：			